

令和元年度
事業決算報告書



自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日

公益財団法人生涯学習かめおか財団

目 次

事 業 報 告 書

事業の概要	1
役員等に関する事項	3
会議及び議決事項	5
事業実施報告	7
生涯学習事業一覧	11
施設の利用状況	19

決 算 書

貸借対照表	20
正味財産増減計算書	21
正味財産増減計算書内訳表	24
財務諸表に対する注記	26
附属明細書	29
財産目録	30

事業の概要

昭和63年3月の西日本で初めての「生涯学習都市」宣言により、平成2年3月に、生涯学習を民間活力で推進する組織として誕生した当財団は、平成24年度から「公益財団法人」として新たなスタートをし、公益法人として運営体制や組織の一層の整備、充実を図り、令和2年3月に設立30周年を迎えることができました。

この30年間、亀岡市・教育委員会・生涯学習かめおか財団が三位一体となり生涯学習を積極的に推し進めてきました。

平成10年9月に生涯学習の中核施設となる「ギャラリーかめおか」が竣工し、施設の維持管理を当財団が担い、施設の管理運営と事業を一体化した生涯学習の推進に取り組んできました。

平成18年度からは「ギャラリーかめおか」の指定管理者に指定され、令和元年度は、指定管理4期目（平成29年度～令和2年度）の3年目を迎え、これまでの経験と実績を最大限に活かし、利用者の安全・安心・快適の確保に努めながら、管理運営を行ってきました。

具体的な生涯学習推進啓発事業については、講演会事業、文化・芸術振興事業、講習会事業、啓発・支援事業、国際交流事業、調査研究事業など、地域住民一人ひとりの生涯学習活動のサポート役として、“学びのきっかけ”となるプログラムを展開、実施してきました。

令和元年度は、三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、丹波学トーク、亀岡生涯学習市民大学）を中心に開催し、それぞれの事業において多彩な講師の講義により、多くの参加者にとって、“家族・人生の素晴らしさを改めて実感する場”、“次世代へ文化が継承される場”、“自分たちの夢を実現させる場”となりました。また、文化・芸術の振興と向上、生涯学習の啓発と支援なども積極的に行い、亀岡国際交流協会（当財団所管）や京都先端科学大学、市内の関係団体とも連携しながら様々な事業に取り組みました。

生涯学習施設「ギャラリーかめおか」の管理運営につきましては、指定管理者として、利用者が安全・安心、快適に利用していただけるよう維持管理、修繕業務を行

うとともに、効果的、効率的な管理運営を図りました。また、迅速な事務執行や利用者への丁寧な説明、親切な対応など、市民サービスの向上に努めました。

年間を通した施設利用件数等は予想を上回る状況で順調に推移してきましたが、2月、3月においては新型コロナウイルスの感染拡大防止の対応により前年度を下回ることとなりました。

今後においても、市民の自発的な生涯学習につながる機会の提供、地元・地域で活動しているサークル等の発表機会の創出、多様な団体との連携による協働事業の実施など、新たな事業にも積極的に取り組みます。

役員等に関する事項

令和元年度における役員、評議員、職員の数は次のとおりです。

(1) 名誉顧問、顧問

役名	氏名	職名
名誉顧問	千 玄 室	茶道裏千家大宗匠
名誉顧問	田 中 英 夫	京都府議会議員、元亀岡市長
名誉顧問	栗 山 正 隆	前亀岡市長
名誉顧問	桂 川 孝 裕	亀岡市長
顧 問	大 槻 秧 司	医療法人亀岡病院会長
顧 問	楠 善 夫	宗教法人大本
顧 問	黒 川 正 夫	株式会社カスタム相談役
顧 問	森 淳	三和電気土木工事㈱代表取締役会長

(2) 理事

役名	氏名	職名
理 事 長	井 上 満 郎	京都産業大学名誉教授
副理事長	前 田 逸 郎	亀岡商工会議所顧問
常務理事	山 本 善 也	公益財団法人生涯学習かめおか財団企画総務部長
理 事	井 口 雅 子	ジェンダーフリーのまちづくり会議代表
理 事	石 野 茂	亀岡市副市長
理 事	奥 村 邦 夫	一般社団法人亀岡市観光協会副会長
理 事	川 勝 啓 史	亀岡商工会議所会頭
理 事	坂 本 信 雄	特定非営利活動法人みんなのネットワーク理事長 (かめおか市民活動推進センター登録団体代表)
理 事	關 本 卓 男	公益財団法人亀岡市スポーツ協会会長
理 事	高 瀬 尚 文	京都先端科学大学研究・連携支援センター長
理 事	塚 本 政 雄	亀岡市自治会連合会副会長
理 事	松 田 一	宗教法人大本亀岡宣教センター長

(3) 監事

役名	氏名	職名
監事	垣岡 治	京都北都信用金庫亀岡支店支店長
監事	平田利男	税理士法人平田会計事務所代表社員

(4) 評議員

役名	氏名	職名
評議員	浅田 信仁	一般社団法人亀岡青年会議所副理事長
評議員	神先 宏彰	亀岡市教育委員会教育長
評議員	小牧 生子	国際ソロプチミスト亀岡前会長
評議員	渋谷 幸雄	亀岡経済同友会代表幹事
評議員	田中 秀門	亀岡市生涯学習部長
評議員	林 恵子	亀岡文化交流協会相談役
評議員	藤岡美紀子	亀岡商工会議所女性会会長
評議員	船坂 篤史	亀岡市PTA連絡協議会会長
評議員	古林 峰夫	公益財団法人亀岡市都市緑花協会理事長
評議員	寶積 玄承	元亀岡市社会教育委員会議長
評議員	益田也寸子	亀岡ボランティア連絡協議会幹事
評議員	森戸 俊典	亀岡市医師会会長
評議員	矢田 勲	社会福祉法人亀岡市社会福祉協議会顧問
評議員	山木 茂	亀岡市老人クラブ連合会会長
評議員	渡邊 裕昭	亀岡ロータリークラブ会長

令和2年3月31日現在

(5) 職員配置状況

常務理事	事務局長	部長	課長	主幹	主任
1	1	1 (兼)	3 (内兼務1)	7	3
主査	主事	嘱託	臨時職員	計	
1	1	1	9	26	

会議及び議決事項

(1) 監査の実施

令和2年5月8日 令和元年度決算監査を実施

(2) 会議

① 理事会議決事項

理事会開催	議案番号	件名	議決年月日
第1回 (書面決議)	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財団常務理事の選定について	平成31年4月1日
第2回 令和元年5月13日	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財団平成30年度事業報告及び収支決算について	令和元年5月13日
	第2号	定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件	
第3回 (書面決議)	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財団理事長、副理事長及び常務理事の選定について	令和元年5月29日
第4回 令和2年3月13日	専決処分報告 報告第1号	令和元年度公益財団法人生涯学習かめおか財団予算の補正について	令和2年3月13日
	専決処分報告 報告第2号	公益財団法人生涯学習かめおか財団職員給与規程の一部改正について	
	専決処分報告 報告第3号	令和元年度事業報告について	
	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財団令和2年度事業計画及び収支予算について	
	第2号	公益財団法人生涯学習かめおか財団名誉顧問及び顧問の委嘱について	
	第3号	公益財団法人生涯学習かめおか財団組織規程の一部改正について	

	第4号	公益財団法人生涯学習かめおか財団職員就業規程の一部改正について	
	第5号	令和元年度公益財団法人生涯学習かめおか財団予算の繰り越しについて	

②評議員会議決事項

評議員会開催	議案番号	件名	議決年月日
第1回 令和元年5月29日	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財団平成30年度事業報告及び収支決算について	令和元年5月29日
	第2号	公益財団法人生涯学習かめおか財団理事及び監事の選任について	
	第3号	公益財団法人生涯学習かめおか財団評議員の選任について	

事業実施報告

1 生涯学習推進普及啓発事業（公益1）

（1）講演会事業

三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、丹波学トーク、亀岡生涯学習市民大学）をはじめ、それぞれの講演会の理念に沿ったテーマ、講師を選定し、生涯学習の機会を提供しました。

コレージュ・ド・カメオカは、第82回に嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学学長、日本美術史研究者の佐々木正子さんを迎え、亀岡に生まれ京都で活躍した絵師、円山応挙を取り上げた講演会を開催し、あわせて高精細複製画展示会（協力：特定非営利活動法人京都文化協会）を行いました。講演会と展示会を通して、当時における先進性や価値を理解し、応挙の感性を育んだ郷土への愛着と誇りを深める機会となりました。第83回は、第8代ユネスコ事務局長の松浦晃一郎さんに、生涯学習大賞「石田梅岩賞」受賞記念としてご講演いただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、延期といたしました。

丹波学トークは、「お城のあるまちに暮らす」をテーマに、研究者等によるトークとフィールドワークを交え、私たちの住む亀岡が「お城のあるまち」であったことを改めて見つめ直し、そこに暮らすことの楽しさや誇らしさを実感するとともに理解を深めるきっかけ作りの場となりました。

亀岡生涯学習市民大学は、「時は今 心ときめく学びの場 ～さあ進もう 新しいステージへ～」を年間テーマに、市民の運営委員会による講座として、多彩なジャンルの講師を迎え開催し、多くの方に学習機会を提供しました。第2,8講座は、大河ドラマ「麒麟がくる」が放映されることから「明智光秀」をテーマとした講義となりました。

“輝き”フォーラムは、令和2年度をターゲットイヤーに実施される「かめおか霧の芸術祭」をテーマに亀岡市との共同事業として、他地域の芸術祭との比較も交え、亀岡の芸術祭がここまでに生み出したもの、これから作ろうとするものについて考え、その可能性について語り合いました。

ギャラリーテーマ講演会は、丹波学トークの関連企画として、お城の魅力の一つであり、日本の伝統文化・技術でもある「石垣」について理解を深める講座として実施しました。

京都先端科学大学との協働事業は、ニュースポーツとして注目されているフライングディスクに関するミニ講座と体験会を子ども対象に実施しました。

(2) 文化・芸術振興事業

実施運営委員会を中心に、生涯学習の成果発表と、芸術文化振興や交流の機会として亀岡市美術展、亀岡市民文化祭を開催しました。

亀岡市美術展では、好評の来場者の投票による特別賞を継続して行い、最終日には受賞者と運営委員との交流会を持ち、展示会場で有意義な作品の講評会を行うなど、市民の文化芸術の向上を図りました。

亀岡市民文化祭では、近年定着してきたロビーでの参加団体による合同展示を行い、来場者参加型イベントなどを、実施運営委員会の主導により開催しました。

7月には隣接する京都市西京区との交流事業として、七夕交流コンサート（前年度7月豪雨で中止）を開催しました。亀岡のオカリナグループ、西京区のシルフィード合唱団・室内楽団を中心に構成し、ゲストに京都府立亀岡高等学校&農芸高等学校合唱部を迎えて開催しました。

8月には、宝くじ社会貢献事業の助成により、京都フィルハーモニー室内合奏団を迎え、オーケストラによるクラシックコンサートを開催しました。同コンサートでは、亀岡市内で活動されるコーラスや合唱団体に参加を呼びかけ、オーケストラと合唱の共演が実現し、素敵な演奏会となりました。

(3) 講習会事業

ガレリアかめおかのバラ園を活用し、市民活動団体「亀岡・花と緑の会」の協力によるバラの育て方相談会、観賞会を実施しました。同時に、市民活動団体「優悠写真同好会」の協力を得て、きれいなバラ園での記念撮影・プリントサービスを行うなど、オープンガーデンかめおか2019として、来場の家族、グループに喜んでいただきました。

また、京都府の「文化を未来に伝える次世代育み事業」として、なないろのアトリエを3講座開催し、各回小学生13名の参加により、自分の手を使い、発想することを楽しみながらつくる過程を重視して工作や料理に取り組み、季節にあった風習や文化を学ぶ機会を提供しました。

その他、館内装飾事業として「かめおか天の川プロジェクト」、オカリナ演奏講座を継続して行い、市民の学習機会、学びのきっかけづくりの提供に繋がりました。

外国語の学習機会として、中国語講座とドイツ語講座を継続して開催しました。受講生には、亀岡国際交流協会の事業への参加を積極的に促し、教室で学ぶだけでなく、実際に使う機会の提供にも努めました。

(4) 啓発、支援事業

市民の自主的な生涯学習活動を支援するため、「生涯学習事業助成」により活動経費の一部を助成するとともに、「ガレリアかめおか人材バンク」を中心とした講師、文化・芸術活動者の情報を提供するなど多面的な支援を行いました。

また、市民活動の活性化を図るため、市民活動の中間支援機関である「かめおか市民活動推進センター」の業務をサポートしました。

財団情報誌「Manabian」を3月に発行、ガレリアニュースを毎月1回発行、各事業のアーカイブの作成、ホームページやFacebookを活用し、随時に財団の事業展開、生涯学習の機会提供に関する広報に努めました。

(5) 国際交流事業

亀岡国際交流協会の事務局を財団が所管し、同協会と連携しながら様々な事業に取り組みました。

在住外国人の生活支援を目的とする外国人のための日本語教室や、市民と留学生・外国人住民との交流事業、多様な文化を理解するための国際理解学習等を実施し、生涯学習につながる多文化共生の地域づくりを推進しました。

また、姉妹都市・友好交流都市の方からの寄稿、亀岡在住の外国人の紹介など亀岡の国際交流に関する情報誌として、「亀岡国際タイムズ」を年4回発行しました。

これらには協会会員や多くの市民ボランティア、京都先端科学大学を中心とする学生の皆様の協力により、大きな成果をあげました。

(6) 調査研究事業

平成29年度から継続している「篠窯跡群」と古代亀岡の焼き物文化について、令和元年度は3年間の活動成果を取りまとめ、市民に広く発信するために、世代を超えて継承される篠窯の須恵器職人の物語を絵巻物として制作し、公開しました。絵巻物の制作は、亀岡市生まれ・在住の日本画家、ベリー・マキコさんに依頼し、考古学研究者の監修を受けて制作。絵と物語という親しみやすい表現により、篠窯や古代の焼き物文化について、より一層の周知を図りました。

2 市民の生涯学習活動に対する支援等事業（公益2）

生涯学習施設「ガレリアかめおか」において、地域住民の生涯学習活動における成果発表や住民交流、協働の場の提供を行いました。令和元年度は、施設運営の改善を図るため、次のことを実施しました。

- ① 施設利用者へのサービス向上を図るため、施設利用料金の支払いにクレジットカード等のキャッシュレス決済を導入しました。
- ② 利用者が安全・快適に使用できるよう、点字ブロックの改修、駐車場花壇の整備を実施しました。また、道の駅トイレ（多機能トイレ男・女、一般トイレ男・女各1箇所）を和式から洋式に変更し、暖房温水洗浄便座を取り付けます。

3 生涯学習施設における公益目的外貸与等事業（収益1）

生涯学習施設「ガレリアかめおか」において、道の駅関係の物販を行いました。

※各事業の実績数値は別紙によりとりまとめています。

(別紙)

(1) 講演会事業

【コレージュ・ド・カメオカ】

事業名	実施日	内容	参加者数
第82回 コレージュ・ド・カメオカ	10/6(日)	「円山応挙と江戸時代の京画壇」 講師:佐々木正子さん(嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学学長、日本美術史研究者)	200名
	10/6(日)～ 12(土)	<同時開催> 高精細複製画展示会 京都文化協会によるギャラリートークも実施	600名
第83回 コレージュ・ド・カメオカ	2/24 (月・休)	第19回生涯学習大賞 『石田梅岩賞』受賞記念講演 「生涯学習はなぜ人にとって重要なのか」 講師:松浦晃一郎さん (第8代ユネスコ事務局長) ※新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため延期	延期

【丹波学トーク・テーマ講演会】「お城のあるまちに暮らす」シリーズ

事業名	実施日	内容	参加者数
丹波学トーク 第93回	5/11(土)	シリーズ1 今日から楽しむ、お城の見方・歩き方 ゲスト:萩原さちこさん(城郭ライター) コーディネーター:黒川孝宏さん (亀岡生涯学習市民大学学長)	48名
丹波学トーク 第94回	6/15(土)	シリーズ2 お城へ行こう～丹波亀山城址～ ゲスト:萩原さちこさん(城郭ライター) コーディネーター:黒川孝宏さん (亀岡生涯学習市民大学学長)	70名
丹波学トーク 第95回	9/21(土)	シリーズ3 お城が教えてくれること ゲスト:中井均さん(滋賀県立大学教授) 萩原さちこさん(城郭ライター) コーディネーター:黒川孝宏さん (亀岡生涯学習市民大学学長)	50名
石の声を聞く ～伝説の石工、穴 太衆の石垣～	11/16(土)	穴太衆積みに関する講演、トークディスカッション、ミニ模 型を使った穴太衆積みの技法実演と体験 ゲスト:栗田純司さん(古式特技法穴太衆第14代石工) 実政秀行さん(庭詩) コーディネーター:黒川孝宏さん (亀岡生涯学習市民大学学長)	31名

【 亀岡生涯学習市民大学 】

事業名	実施日	内 容	参加者数
第1講座	令和元年 6/22(土)	「出会って歌って笑わせて」 講師:桂福点さん(落語家)	465名
第2講座	7/20(土)	「明智光秀と本能寺の変」 講師:呉座勇一さん(国際日本文化研究センター助教)	522名
第3講座	8/24(土)	「みて歩く」 講師:多和田悟さん (公益財団法人日本盲導犬協会常務理事)	332名
第4講座	9/28(土)	「プラス思考の作り方」 講師:神吉宏充さん(プロ棋士)	322名
第5講座	10/26(土)	『伊勢物語』と平安貴族の生活 ―束縛・情熱・憂愁― 講師:山本登朗さん (関西大学名誉教授、京都光華女子大学名誉教授) [古典の日にちなむ講座]	288名
第6講座	12/14(土)	「ヴァイオリニスト登場! ~京響コンサートマスターを迎えて~」 講師:河野美砂子さん (ピアニスト、歌人、京都市立芸術大学非常勤講師) 講師:泉原隆志さん (京都市交響楽団コンサートマスター、 京都市立芸術大学非常勤講師)	326名
第7講座	令和2年 1/25(土)	「農業をどうすればよいのか?」 講師:山下一仁さん (キャンングローバル戦略研究所研究主幹)	266名
第8講座	2/8(土)	「丹波侵略、攻略、平定? ~私的明智光秀論~」 講師:黒川孝宏さん(亀岡生涯学習市民大学学長)	315名
館外研修	11/26(火)	「日本三景の名勝地 天橋立を訪れて!! 丹後郷土資料館と元伊勢籠神社」 研修先:京都府宮津市 丹後郷土資料館、元伊勢籠神社 ※台風19号の直撃に伴い、10/12は中止し、参加決定者 対象で11/26に代替開催。	37名

【その他講演会等】

事業名	実施日	内容	参加者数
輝きフォーラム “かめおか霧の芸術祭” 連携企画	1/18(土)	「循環的経済圏を可能とする新しい芸術祭とは」 ○地方創生☆政策アイデアコンテスト2019 近畿経済産業局長賞受賞記念講演 発表者：亀岡市地方創生ラボ ○トークイン 藤 浩志さん(美術家・秋田公立美術大学教授) 榎田 隆之さん(京都信用金庫理事長) 仲山 德音さん(亀岡市副市長) 松井 利夫さん (陶芸家、かめおか霧の芸術祭監修) ○ファシリテーター 田中 英行さん (かめおか霧の芸術祭キュレーター)	100名
京都先端科学大学協働事業 フライングディスクにチャ レンジしてみませんか！	1/25(土)	ミニ講座講師： 三宅 基子さん(京都先端科学大学健康医療学 部健康スポーツ学科教授) フライングディスク指導者： 人見 允教さん (WFDF2016世界アルティメット&ガッツ選手 権大会マスターメン部門日本代表) [会場]京都先端科学大学京都亀岡キャンパス体育館	25名

(2)文化・芸術振興事業

事業名	実施日	内容	参加者数
亀岡市・京都市西京区都市間交流事業 七夕交流コンサート2019	7/28(日)	亀岡市のオカリナグループと京都市西京区 のシルフィード合唱団・室内楽団による交 流コンサート。今年のゲストは、亀岡高等学 校・農芸高等学校合唱部を迎えて開催。	600名
ギャラリーライブ・宝くじ社会貢献事業 京都フィルハーモニー室内合奏 団ジョイントコンサート	8/12 (月・休)	京都フィルハーモニー室内合奏団の演奏と 市内共演団体との合唱のジョイントコンサ ートを「宝くじの社会貢献広報事業」の一環と して助成を受けて実施。 演奏曲目：美しく青きドナウ 夏の思い出、ふるさと 等 指揮者：牧村邦彦さん 共演合唱・コーラス団体：亀岡こども合唱 団、かめおかコロレ合唱団、女声コー ラスさつき会、女声デュオ・プリランテ、ミ ュージックパーク 合唱クリニックを8/8(木)に開催	318名

*実施運営委員会

事業名	内 容	鑑賞人数
第36回亀岡市美術展	市民の文化芸術の振興を図り、豊かな人間性の形成と技術の向上など生涯学習の推進を目的として実施。 開催期間 9/14(土)～23(月・祝) 出 展 113名・122点	2,440名 (10日間延べ)
第44回亀岡市民文化祭	市民の多様な芸術・文化活動など生涯学習の発表の場として実施。 開催期間 11/9(土)・10(日) 展示の部 23団体 379点出展 舞台の部 45団体 469名参加	3,000名

(3)講習会事業

事業名	実施日	内 容	参加者数
オープンガーデンかめおか 2019 *共催事業	5/18(土)、 19(日)	バラの観賞・栽培相談 記念撮影&無料プリントサービス 300枚以上撮影 市民が自宅などに花飾りを行い訪れる人をもてなす。美しい街づくりを目指し、オープンガーデン事業を実施。 ・オープンガーデンコンサート ・ミニばらの寄せ植え体験教室 ・オープンガーデン 他	2,285名
なないろのアトリエ ー季節とあそぶ・つくる時間ー 令和元年度 京都府 「文化を未来に伝える次世代育 み事業」(地域文化施設プロジェ クト)	4/27(土)	Vol.1「こどもの日」 紙で「カブト」をつくろう！ 講師：ベリーマキコさん(日本画家、のびなびあーと)	13名
	9/23(月・祝)	Vol.2「お彼岸」 おはぎをつくっておさんぽしよう！ 講師：食と農をつなぐ会「風土FOOD」料理くらぶ	13名
	1/12(日)・ 2/2(日)	Vol.3「節分」 土で鬼のお面をつくろう！ 講師：綿引恒平さん(陶芸作家、こどもアトリエてくてく)	13名
中国語講座	4月～2月 (土曜日開講)	中国語の学習を通じて文化の学習 (年間40回) *3月は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため休講	1クラス 6名

事業名	実施日	内容	参加者数
ドイツ語講座	4月～2月 (土曜日開講)	ドイツ語の学習を通じて文化の学習 (年間40回) *3月は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため休講	1クラス 8名

参加型ワークショップ(館内装飾)

事業名	実施日	内容	参加者数
かめおか 天の川プロジェクト2019 ぼくらのプラネット	ワークショップ 6/23(日) 展示期間 7/1(月) ～8/17(土)	七夕飾りの一環として、ロビー天井から吊るす「星」を発砲スチロールのボールに蓄光塗料と色砂を使って製作。昨年度までの制作分と合わせ約2000個の星が浮かび上がった。	110名 (ワークショップ)

オカリナプロジェクト

事業名	実施回数	内容	参加者数
オカリナ演奏講座	毎月2回 12か月	演奏講座 4コース	28名
市民オカリナ演奏団	4/13、5/12・25、6/8・30、7/13(全6回)	七夕交流コンサートの出演に向けた練習会	各回 50名程度

(4)啓発・支援事業 【共催・後援事業】

事業名	実施日	内容	参加者・件数・登録団体数
2019 花と緑のフェスティバル	4/20(土) 21(日)	(公財)亀岡市都市緑花協会主催のフェスティバル。展示・ステージ発表など。	参加者 約10,000名
各種生涯学習事業後援	年間を通して実施	市内の団体等が実施する生涯学習事業に後援を行った。	17件 (協賛・協力を除く)
かめおか市民活動推進センター	当センターが中間支援機能を発揮できるよう、運営のサポートをしている。		登録団体 94団体

生涯学習助成事業

申込団体名	事業名	助成金額(円)
国際ソロプチミスト亀岡	国際ソロプチミスト亀岡認証30周年記念演奏会 「佐渡裕氏トークと演奏会」～佐渡裕&スーパーキッズ・オーケストラ～	100,000

申 込 団 体 名	事 業 名	助成金額(円)
亀岡市文化資料館友の会	亀岡市文化資料館友の会30周年記念誌「友の会30年のあゆみ」の発行及び友の会パンフレットの制作	100,000
恵琴会	恵琴会50周年記念演奏会	100,000
亀岡商工会議所女性会	亀岡商工会議所女性会 市民交流文化事業 シャンソンコンサート「いのちの賛歌」	100,000
阪田裕規	ガレリア浪曲会	65,000
亀岡映画センター	映画の上映会	70,000
いきいき写真サークル	① 写真術技能講習及び撮影現地講習 ② 写真展開催	100,000
フリンジシアターアソシエーション	大人の演劇部 in 亀岡	100,000
京都・亀岡現代連歌愛好会	光秀公の愛した連歌「天正愛宕百韻連歌」の紹介と説明	53,000
カメオカアートボンチ	カメオカアートボンチ おみせでさくひんてん	100,000
亀岡よし笛アンサンブルスカイラーク	亀岡よし笛アンサンブルスカイラーク 第2回演奏会	43,000
亀岡おもしろ街歩き隊	「春の丹波に獅子が舞う 伊勢大神楽」観る・撮る・展示	100,000
亀岡古文書を読む会	報告集『亀岡地域史研究』の発行	85,000
合 計	13件	1,116,000

公益財団生涯学習事業助成要項に基づく審査委員により審査いただき、合計申請15件のうち15件について助成を決定。その後、2件が取り下げとなり、13件に助成金を交付しました。

(5) 国際交流事業(亀岡国際交流協会と連携して開催)

事 業 名	実 施 日	内 容	参加者数
国際理解学習 グローバルカフェ	4/28(日) 12/22(日)	市民と在住外国人の交流の場としてグローバルカフェを開催しました。 ゲストにとっては、市民と交流し、自分の国を紹介できる良い機会になりました。	23名 17名

事業名	実施日	内容	参加者数
国際理解学習 ポーランド料理教室	12/15(日)	多文化共生、多文化理解を目的とした講座。ポーランドからのゲストと一緒にクリスマスの家庭料理を体験。 多文化共生団体「オフィス・コン・ジュント」との共催事業。	20名
京都先端科学大学連携事業 留学生と亀岡巡り	2/6(木)	京都先端科学大学の留学生に、亀岡の「文化・歴史・食」等の魅力を紹介しました。チョロギ村で薬膳料理を味わった後、出雲大神宮とサンガスタジアム、大河ドラマ館を見学しました。	24名
国際交流キッズアートプロジェクト	8/23(金) 11/25(月) ～12/1(日)	姉妹都市、スティルウォーターの子供たちと亀岡の子供たちのアート交換プログラム。8月に制作。11月下旬から、スティルウォーターからの作品を展示。	20名
ジュニアワールドフェスタ 2019	10/22(火・祝)	生きもの再発見 ～あなたのなかの いのちのひろがり～ ○特別講演 講師：村田英克さん(JT生命誌研究館 表現を通して生きものを考えるセクターチーフ) 演題：生きものは皆、自分らしく生きる	100名
ワールドフェスタ2020	2/9(日)	多文化共生のまち亀岡 ーゴミの分別とそのゆくえー 特別ゲスト：上田 賢さん(亀岡市環境事業公社環境学習コーディネーター) ゲスト：エニ・レスタリさん(インドネシア出身) 陳 少暉さん(中国出身) ファシリテーター：児嶋きよみさん (オフィス・コン・ジュント主宰)	32名
日本語教室	日曜日 年間40回開催	亀岡市内や近隣地域に住む外国人等、を対象に日常生活に必要な日本語を習得していただくことを目的に、支援ボランティアにより継続して開催。 近年では、企業の技能実習生の増加に伴い、学習者が増加。 *3月は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため休講	ボランティア 24名 学習者 45名
南丹圏域ネットワーク 「日本語支援ボランティア スキルアップ講座」等	7/14(日) 12/1(日) 2/23(日)	亀岡国際交流協会及び南丹市・京丹波町の国際交流協会との連携で、外国人への日本語支援を行うボランティアのためのスキルアップ講座及び「日本語教室普及・啓発イベント」に参加。	75名 36名 50名

事業名	実施日	内 容	参加者数
外国につながる子どもの 学びを支える研修会 (共催事業)	8/3(土)	日本に住み、子どもを持つ外国人住民 等の支援活動をされる方を対象に、研修 会を実施した。(公財)京都府国際センタ ー、オフィス・コン・ジェントとの共催事業	17名
	11/23(土)		22名
	2/2(日)		33名
姉妹都市交流事業 (共催・協力事業)	4/16(火)～ 4/22(月)	スティルウォーター市・オクラホマ州立大 学日本庭園修復事業 亀岡市造園事業協同組合青年部が、姉 妹都市スティルウォーターに渡り、国際交 流記念庭園などの修復、メンテナンスを 行いました。	6名
	6/29(土)～ 7/7(日)	クニッテルフェルト市訪問 亀岡市とクニッテルフェルト市と姉妹都市 盟約締結55周年を迎え、クニッテルフェ ルト市を訪問し、現地で日本の文化を紹 介し、友好を深めました。	25名
	8/29(木)～ 9/3(火)	オーストリア空手選手団受入事業(ホスト タウン事業) 市内施設でのトレーニング、市民との交 流プログラムを実施しました。	9名

(6) 調査・研究事業

テーマ	実施日	調 査 研 究 の 目 的 ・ 方 法
文化遺産「篠窯跡群」の 周知と、遺跡および古代 亀岡の焼き物文化の次 世代への継承について	9月～11月 (リサーチ期間)	平成29年度から継続している「篠窯跡群」と古代亀岡の 焼き物文化について、今年度は3年間の活動成果を取り まとめ、古代亀岡の焼き物文化を市民に広く発信するた めに、世代を超えて継承される篠窯の須恵器職人の物 語を絵巻物として制作し、公開しました。絵巻物の制作 は、亀岡市生まれ・在住の日本画家、ベリー・マキコさん に依頼し、考古学研究者の監修を受けて制作。絵と物語 という親しみやすい表現により、篠窯や古代の焼き物文 化について、より一層の周知を図りました。
	12月～1月 (制作期間)	
	3/7(土)～ 3/29(日) (成果発表展示)	
	9/8(日)	(関連事業) 須恵器製作体験会 参加者 16名

(日本漢字能力検定)

事業名	実施日	内 容	申込数	受検数
日本漢字能力検定	8/21(水)	ガレリアかめおかで年2回実施。 市民対象に2級から10級までの 10段階	92名	88名
	1/31(金)		73名	70名

施設の利用状況（令和元年度）

（ガレリアかめおか）

月	4	5	6	7	8	9	
利用件数 （件数）	602	625	674	717	569	670	
利用人数 （人）	49,003	43,818	44,638	46,296	41,998	44,208	
月	10	11	12	1	2	3	計
利用件数 （件数）	686	713	617	557	654	452	7,536
利用人数 （人）	49,768	55,176	40,772	34,206	41,438	27,830	519,151

参考：平成30年度 利用件数合計 7,655 件、利用人数合計 522,032 人